

平成29年仕事始め式 市長訓示

平成29年1月4日 午前9時
市福祉健康センター・多目的ホール

新年明けましておめでとうございます。

本年はとても穏やかで温かい正月でしたが、職員の皆さんにはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、皆さんには昨年も、「元気な自立都市 越前」の創造に向け、それぞれの部署で市民福祉の向上や、市民と協働のまちづくりにご尽力をいただき、誠にありがとうございました。

さて、昨年を振り返ると、1月に小倉百人一首競技かるたで川崎文義さんが本県初の名人に就位するとともに、8月のリオデジャネイロオリンピックで見延和靖選手と佐藤希望選手が入賞に輝くなど、越前市出身の若者の活躍が目覚ましい1年でした。

また、本市が進める「半世紀に一度のまちづくり」

が着実に進展した1年でもありました。

本庁舎の建設に向けては、10月に立体駐車場が完成し、来庁者の駐車場として供用を開始しました。

また、武生東公民館が武生東小学校の敷地内に移転し、10月1日に開館しました。

本庁舎は本年3月に実施設計を策定し、いよいよ秋に着工する予定です。

今立総合支所が入居する複合施設も、平成30年8月末の完成に向け、本年春の着工を予定しています。

また、武生中央公園については、本市出身の絵本作家・かこさとし氏に監修いただいて再整備を行っており、市民の広場は本年8月の完成を目指しています。

福井国体でフェンシングの会場となる武生中央公園体育館も、本年8月の完成を目指して改築工事を進めています。

本庁舎の建設や武生中央公園の再整備などを位置付けて策定した第3期市中心市街地活性化基本計画が、11月に内閣総理大臣の認定を受けたところであ

り、本年から計画の着実な推進を図ってまいります。

産業の振興については、4月に発表された平成26年の越前市の製造品出荷額等は4,736億円と、市の産業施策の効果もあり、本県の25%余りを占めています。

市内企業の発展に伴う雇用の拡大を追い風に、人口減少対策を取りまとめ、一昨年11月に策定した市総合戦略については、「女性が輝くモノづくりのまち～子育て・教育環境日本一～」の実現に向け、生産年齢人口世代の居住促進と、女性の雇用や起業に対する支援などの強化を図りました。

伝統産業の振興については、11月にサンドーム福井で「伝統的工芸品月間国民会議全国大会福井大会」が開かれ、本市の伝統的工芸品の魅力を発信しました。

本年は、4月に紙の文化博物館の1階部分が、秋には全館がリニューアルオープンするとともに、打刃物拠点施設の着工が夏に予定されるなど、市工芸の里構想に基づき、越前箆笥を含めた各産地の振興に引き続

き取り組んでまいります。

交流人口の拡大に向けては、4月に「ちひろの生まれた家」記念館に新しい展示室がオープンし、年4回の企画展を開催するなど、平成30年の「いわさきちひろ生誕百年」に向け、市観光協会と連携した事業を展開するとともに、紫式部公園の開園30周年を記念して、紫式部像の修復工事を行いました。

高齢者福祉については、介護保険制度の改正に伴い、住民主体の支え合いによる介護予防事業が求められる中、市では「いきいきふれあいのつどい」の実施回数や参加者の一層の増加を目指し、交付金による助成を4月から開始しました。

また、10月からは各地区で介護予防の推進役を担う、地域支え合い推進員の活動が始まったところであり、本年も各地区自治振興会と連携し、地域支え合いの介護予防活動を推進してまいります。

コウノトリが舞う里づくりについては、白山地区で5月に誕生し、ケージ内で飼育されていたコウノトリ

の「たからくん」と「さきちゃん」の2羽が9月25日に坂口地区で放鳥されました。

昨年につき、越前市で2度目の放鳥です。

3月25日に飛来した「みほとくん」は11月12日まで、233日間において白山地区に滞在し、平成22年の「えっちゃん」の越前市での滞在日数を上回るとともに、4月29日に飛来した「ゆきちゃん」は引き続き白山地区に滞在を続け、本市での滞在日数の最長記録を12月18日に更新しました。

このほか市公共施設等総合管理計画や市都市計画マスタープラン、市立地適正化計画、市下水道経営戦略、市男女共同参画プラン、市観光振興プラン、市環境基本計画、市子ども読書活動推進計画の素案を取りまとめ、現在はパブリック・コメントを実施するなど、各分野において着実な事業の推進を図ることができた1年でありました。

これも偏に、市議会や市民の皆様のご支援、並びに職員の皆様のご尽力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

げます。

本年も越前市では、「半世紀に一度のまちづくり」や子どもたちの夢を育む教育、コウノトリが舞う里づくりの推進など、長期的な視点から「ひとづくり、ものづくり、まちづくり」に取り組み、人と人との絆づくりや自然との共生を重視した、安定感と安心感のある市政を目指してまいります。

特に本年は、3月に策定する市都市計画マスタープランにおいて、越前市に設置される南越駅（仮称）周辺地区に求められる機能を「広域高次都市機能」と位置付け、広域交流及び連携拠点にふさわしい機能を誘導していくスタートの年にしたいと決意しています。

また、本年8月に完成する武生中央公園の市民の広場と体育館を大いに活用し、たけふ菊人形や福井国体のプレ大会をはじめ、武生中央公園で開催するイベントを通して本市の魅力を力強く発信し、本市のイメージアップにつなげていきたいと考えています。

職員の皆さんには、本市の将来に大きな夢を描きな

がら、本年もそれぞれの部署で職務に精励し、「現地現場主義」の実践を通して市民のニーズを的確に汲み取り、市民の期待に応える市政の推進にご尽力いただくことをお願いします。

その際、毎年お話ししているように「着眼大局、着手小局」を心掛け、全職員が20年先、30年先の越前市を見据える大局観を持つ一方、目の前の課題に丁寧に取り組み、当たり前前的事業を確実に実践する風土を庁内に築いていきたいと考えています。

併せて、前例にとらわれることなく、従来の思考や手法を大胆に見直していくため、若手職員や女性職員が積極的な提案を行うとともに、その提案が活かされる柔軟で明るい職場をつくっていききたいと思います。

結びに、本年も皆さんが心身ともに健康で、市政の発展と市民福祉の向上のために大いに活躍されることを祈念し、「平成29年 仕事始め式」の訓示いたします。

本年も、よろしくお願いします。